島根大学大学院教育学研究科現職教員コース実践報告会&講演会が開催されました。

教育学研究科現職短期履修１年コースでは，毎年夏期休業中に，現職大学院生と修了生の OB，OG と交流する会を毎年設けてきました。今年は以下のような日程で開催し，現職コース６期生の研究・実践発表を中心に，OB，OG，学部学生，ストレートマスターの大学院生，そして学部教員を交えた情報交換会を新しく企画しました。40 名以上の参加があり，様々な経験をもった教育に携わる者同士のディスカッション（伝え合う活動）が活発に行われました。

その後，教師教育センター特任教授の三島修治先生に『今，教師に求められるもの』というタイトルで講演していただきました。教員採用試験を受験中の学部学生に対する期待や，これからの教育現場でミドルリーダーを担う現職院生への想いを熱く語っていただきました。参加した学生から「貴重な体験になりました」という感想が寄せられ，参加者にとって大変有意義な時間となりました。

日時：平成 25 年 8 月 10 日（土）
場所：島根大学教育学部棟 517 室
日程：13:30～14:00　受付
14:00～15:40　開会の挨拶：現職教育支援センター長　多々納 道子教授
現職教員１年コース生による実践報告
参加者全員による情報交換会
16:00～17:00　講演　講師　島根大学教育学部教師教育センター特任教授
前島根県教育センター長　　三島 修治先生
演題：『今，教師に求められるもの』
17:00　閉会行事

（文責：現職教育支援センター副センター長　川路 澄人）